

産学公連携事業の紹介

交流連携室は、産学公連携のための色々なメニューをそろえて、企業の皆様に質の高いサービスを提供しています。

実地技術支援事業

－生産現場で技術支援を行います－

職員や外部指導員が現場に駆けつけ課題の解決を図ります。

実地技術支援A	年間20日まで 22,400円/日 (うち11,200円/日は都産技研が補助) ・外部指導員
実地技術支援B	1日に対応可能な課題 無料 ・外部指導員及び都産技研職員
実地技術支援C	無料 ・都産技研職員

講習会・技術セミナー

－新技術の解説、技術情報の提供をします－

講義形式の技術セミナーや実習を伴う講習会を開催しています(詳細はホームページ参照)。

また、個別の企業、団体からの要望に沿って開催する「オーダーメイドセミナー」も実施しています。



事例(平成19年度118件)

- ・新入社員教育
- ・教員の専門研修
- ・企業の専門技術研修

図1 オーダーメイドセミナーの実施風景

共同研究

－新製品開発には共同研究が最適です－

企業や大学等から研究テーマを募集し、経費と課題を相互に分担しながら実施しています。

研究成果からは数多くの新製品や特許が生まれています。

〔製品化事例〕

杉間伐材木粉と漆から
100%天然素材の成形物
の開発と製造に成功



図2 木粉と漆による成形品

(共同研究者: ㈱田嶋漆店 日本パレットレンタル㈱)

テーマは年2回(4月と9月)募集します。

東京イノベーション・ハブ

－産学公の集まりの場を提供－

日本全国の交流連携のハブとなることを目指し、全国137の大学・研究機関等のシーズ集を常時展示・配布しております。ミーティング、業界の打合せの場所としてもご利用できます。



図3 東京イノベーション・ハブ

産学公コーディネート事業

－大学の技術を企業に活かしませんか－

専門家のコーディネータが、企業と共に大学等との打ち合わせに参加し、中小企業のニーズに即した技術課題の解決を図ります(無料)。

コーディネータの技術分野と担当日

曜日	担当分野
月曜日	環境・リサイクル・繊維分野
火曜日	電機・電子分野
水曜日	機械・金属分野
木曜日	情報・通信分野、サービス業分野
金曜日	化学・バイオ分野

異業種交流グループ

－異業種企業との交流で活性化しませんか－

昭和59年に発足し、現在都内で最大規模の23グループ、会員企業数約300社となりました。スケールメリットを活かした「出会いの場」、「製品開発の場」、「ビジネスの場」となっています。



図4 第24回合同交流会

図5 製品化事例

(H11グループ: スチカッター(株)ベナ)

問い合わせ先

事業化支援部 交流連携室

電話 03(3909)2384

